

海外経済

		2015年1月	2015年2月	
世界経済		<p>世界の景気は、一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復している。 先行きについては、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、アメリカの金融政策正常化に向けた動きの影響、ヨーロッパ、中国やその他新興国経済の先行き、原油価格下落の影響、地政学的リスク等について留意する必要がある。</p>	(変更なし)	
アメリカ		<p>アメリカでは、景気は回復している。 先行きについては、回復が続くと見込まれる。ただし、金融政策正常化に向けた動きの影響等に留意する必要がある。</p>	<p>アメリカでは、景気は着実に回復している。 先行きについては、着実な回復が続くと見込まれる。ただし、金融政策正常化に向けた動きの影響、原油価格下落の影響等に留意する必要がある。</p>	
アジア地域	中国	<p>中国では、景気の拡大テンポは緩やかになっている。 先行きについては、緩やかな拡大傾向が続くと期待される。ただし、不動産価格や金融市場の動向等によっては、景気が下振れするリスクがある。</p>	中国	(変更なし)
	その他アジア	<p>韓国では、景気は持ち直しの動きが緩やかになっている。台湾では、景気は緩やかに回復している。インドネシアでは、景気の拡大テンポは鈍化している。タイでは、景気は弱い動きとなっている。インドでは、景気は持ち直しの動きがみられる。</p>	その他アジア	<p>韓国では、景気はこのところ減速している。台湾では、景気は緩やかに回復している。インドネシアでは、景気の拡大テンポは鈍化している。タイでは、景気は下げ止まりの兆しがみられる。インドでは、景気は持ち直しの動きがみられる。</p>
ヨーロッパ地域	ユーロ圏	<p>ユーロ圏では、景気は持ち直しの動きが続いている。先行きについては、次第に持ち直しに向かうことが期待される。ただし、政府債務問題等への対応やその影響、失業率や物価の動向、地政学的リスクの影響に留意する必要がある。</p>	(変更なし)	
	英国	<p>英国では、景気は回復している。先行きについては、回復が続くと見込まれる。</p>	(変更なし)	